

ガミラス帝国 デスラー戦闘空母 (宇宙戦艦ヤマト)

バンダイ ノンスケールプラスチックキット
製作・文：政府開発援助

1. デスラー戦闘空母について

デスラー戦闘空母はヤマトとの戦闘で旗艦を失ったデスラー総統が座乗する為にガミラス残存艦隊の戦闘空母を急遽改装したものといわれ、「新たなる旅立ち」1作のみに登場した。デスラーの乗艦としては珍しい赤色の艦体色も急造故であろう。通常型の戦闘空母との最大の差異は戦闘甲板下に格納されているデスラー砲である。

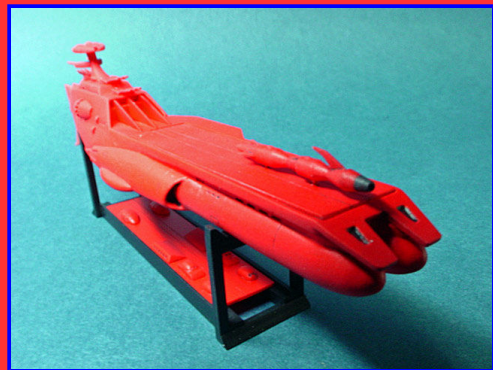
2. キットについて

ヤマトメカコレクション全30種の中期(昭和54年10月)にキット化されたもので、この頃になると砲やアンテナ類はシャープに成型されており、プロポーションも良好です。戦闘甲板の武装は劇中では見る事の無いフル状態(砲塔+デスラー砲)となっています。また飾り台が着脱可能になっているのも嬉しいです。

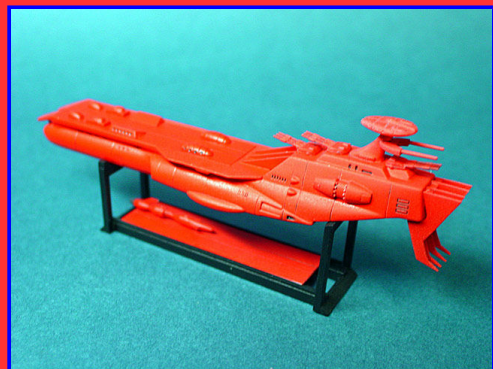
3. 製作と塗装について

戦闘甲板の状態を変更できるようにすることとフィンの類を薄く作り直すことを中心に、プロポーションは変更せずに仕上げています。良く出来たキットという印象がありましたが年月を経た為か艦体左右が上手く合わず、くさびを噛ませて強引に接着しました。戦闘甲板はキットパーツをくり抜いた後にプラ板で新造しましたが、デスラー砲発射時の動画を解析して左右と中央(デスラー砲収納部)の3分割と解釈しています。それに伴い、甲板上の砲塔の後ろ側2つの幅や高さを詰めました。また、甲板上にデスラー砲だけを出しているのはアニメ映像を再現したものです(この状態はこれまでほとんど作られていないようです)。艦底部の飾り台取付用の穴は塞ぎ、下側のエンジンノズルを貫通する形で自作汎用飾り台の真鍮角材を差し込めるようにしています。また、外した甲板を収容できる飾り台をプラ材で新造しました。

塗装はほとんど赤一色なので、全体にタミヤのファインサーフェーサー、クレオスの缶スプレーのシャインレッドの順に吹いた後エナメルカラーで細部の塗り分けとスミ入れを行い、最後にクレオスのツヤ消しクリアを吹いてツヤを整えています。



前面

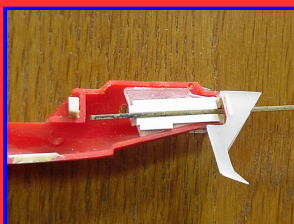


後面

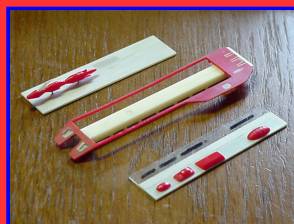
4. 製作過程



艦体側面のバルジを開孔する等若干のディテールアップを行った。



後部噴射口を貫通する形で飾り台と接続可能。フィンは新造した。



戦闘甲板は交換可能とし、二種類を自作。砲塔類は小型化している。



ほぼ工作が終了したところ。飾り台には使用しない方の甲板を収容可能。